

森けんじ市議会レポート

きらら通信 vol.5

平成28年7月



身近なところで、政治は動いています。

今年も暑い夏になりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

平成二十八年度第2回定例議会が終了しました。今議会では、本年度事業の具体的な骨格が見えてまいりました。森は、大網小学校に隣接する「みどりが丘市有地」整備計画に係る補正予算議案について質疑を行い、また、一般質問を行いました。

「みどりが丘市有地」の有効活用、開発については、森が議員になる以前の平成22年から継続して取り組んでいた事項であり、昨年度から動きが活発になつていきましたが、この程「子育て支援施設」や病院を中心とした住民福祉に資する施設群が作られる見込みとなりました。関係者の皆様、ご協力頂きました皆様に、改めまして感謝申し上げます。引き続き、市有地の具体的な開発計画につきまして、関係者の皆様のご指導をいただきながら、五団地全体の開発と合せて努力してまいります。今議会の、他の注目すべきお話としては、津浪避難タワー建設に係る補正予算、大網駅南地区市街地整備検討業務(駅南口の開発)、大網中学校給食調理室改築工事、圏央道スマートインターチェンジ周辺地域の土地利用方針について、などがあげられます。

今回も引き続き、一般質問を行いました。

- 図書館、図書室行政について
- 危機管理について(熊本地震を受けて)
- 地元産業の育成について
- 二十八年度予算の執行状況について
- 詳しくは裏面をご覧ください。

森
けんじ



所属委員会は、文教常任委員会。そして、議会だより編集副委員長、議会改革推進協議会委員、等となりました。

☆「第3回市政報告会」を開催します。
日時: 平成28年8月6日(土)、午前10:00～
場所: みどりが丘自治会館
※どなたでもご参加いただけます。

森けんじのプロフィール

○昭和40年5月29日生まれ、51歳。妻、一男一女の4人家族。
○東洋大学法学科卒業。
○民間企業に25年間勤務(近畿日本ツーリスト株式会社)、在職中より千葉YEG、PTA、自治会、震災復興ボランティア、きらら青空カフェ等の地域活動を展開。
○平成27年11月の大網白里市議会一般選挙にて初当選。文教常任委員会、議会改革推進協議会所属、議会だより編集副委員長。
○現在は、みどりが丘自治会市有地有効利用検討専門部会長、きらら青空カフェ実行委員長、社協大網支部理事、ぐるっと大網30kmウォーク実行委員、県立千葉東高校PTA等にて活動中です。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)
大網白里市みどりが丘3-11-2
電話とファックス: 0475-51-1478
ホームページ : <http://www.morikenji.net/>
(「森けんじ」で検索ください)

6月、平成28年第2回定例議会での一般質問の内容(要約)

先日、会社員時代に5年間勤務し、その後の東日本大震災ボランティアでも幾度となく参りました。仙台とその周辺で、海岸地区を見る機会を持ちました。人がいなくなつたまっさらな土地と、塚のような真っ白な防潮堤で海が見えない海岸を見ていますと、大網白里の海岸をこんな殺風景な物にしてはならないと強く感じました。

そんな中でも、まちづくりのために新しい動きが芽生えていました。目を引かれたのが、図書館や子育て支援施設を起爆剤とする復興でした。文化の拠点をつくり、人づくりを目指す。参考にすべき事例を得て、今後も「本当に住み続けたい」まちづくりを目指します。

1、図書館・図書室行政について

問、図書館は教育、文化、コミュニティが生まれて育つ場所であり、ぜひ充実すべきと考えます。現在の各図書室の利活用状況について。
答、昨年度、①大網白里図書室が4万8,362人、②中部分室が2万5,432人、③白里分室が1万205人、合計が8万3,999人の利用がありました。貸出数は①が11万4,046冊、②が4万5,127冊、③が1万6,243冊、ウェブ貸し出しが2,587冊、合計で17万8,003冊でした。年齢別では、0~12歳が15%、13~18歳が2%、19~30歳3%、31~40歳12%、41~50歳が15%、51~60歳が14%、61歳以上が39%でした。

問、蔵書数と施設のバランスについて。今年度、旧大網小に、本を仮置きするそうですが、現在の蔵書数と、現在施設で直接閲覧できる数を教えてください。

答、①収容可能数5万8,000冊に対し、蔵書数8万70冊。全て閲覧可能です。②収容可能数4万3,000冊に対し、蔵書数4万3,052冊、③収容可能数2万6,000冊に対し、蔵書数2万6,061冊。①は蔵書数が収容可能数を大幅に超えており、早急な対応が必要です。

問、市内では、住宅団地を中心に、子どもが非常に多い。今後も人口を増やし、住み続けてもらうためには、子育て支援施設、図書館は必要なツールです。ぜひ充実させ、地域と人を育てる市にして行きましょう。

2、危機管理について

問、この4月14日以降、熊本地震が相次いで発生し、予断を許さない状況です。「自助、共助、公助」の公助は自治体の仕事。市民の共助を有機的にするため、情報の橋渡しをすることが公助の最初の役割。万一の地震災害時の情報集約、連絡体制について伺います。

答、震度4以上の場合、職員は自動配備により参集します。震度4は第1配備体制、安全対策課長が本部長。震度5弱は第2配備体制、副市長が本部長。震度5強の第3、震度6弱以上の第4配備体制では、市長を本部長とする災害対策本部を設置し対応します。

問、職員も自宅が被災してしまう事も考えられます。万一の場合「その瞬間に何ができるのか」を念頭に置いて頂きたい。全てを市で賄うことは不可能です。自治会や区、自主防災組織との連携も必須。インターネットや防災無線、i広報等も駆使し、情報連絡・伝達を漏れのない形でお願いします。また、万一の際のボランティア受入体制にも不安が残ります。そうなってしまった時の事を具体的にイメージし、確認して下さい。
※ その他、3、津浪避難タワー施設、4、市内産業の育成、5、平成28年度予算の執行状況(職員業務用のパソコンの購入費用、ホームページ管理運営支援業務委託料、大網駅前の交通誘導整備業務、産業振興課の観光とプロモーション推進事業)について質問しました。

※ また、質疑において、「みどりが丘市有地」整備計画に係る今後の事業の進め方について、地域住民の意見を取り入れることができますよう、提言を行いました。

☆図書館、図書室行政について

現在の大網白里市の図書室体制について具体的な数値を確認、把握し、今後の充実、「文教都市」「住みたいと思ってもらえるまちづくり」のため提言を行いました。

☆市内産業の育成について

税収が厳しいという事であれば市内産業を優遇、保護、育成するしかない。現在の状況を問いただし、現在動いている資金融資施策等について確認いたしました。

※議案は、市税条例の一部を改正するための専決処分、平成28年度大網白里市一般会計補正予算、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定、中小企業資金融資条例の一部を改正する条例、など、の議案が話し合われ、可決されました、また、個人や政治団体等による請願、陳情も多く出されました。詳しくは「議会だより」をご覧ください。

☆危機管理について

4月から起こっている「熊本地震」、そして東日本大震災を教訓に、万一震災が来てしまった場合の市の体制を問いただし、「その瞬間に何ができるのか」を確認いたしました。

☆みどりが丘市有地について

「子育て支援施設」や「病院」を中心とする開発が動き出しました。関係者の皆様、ご協力頂きました皆様、ありがとうございます。詳細は議会報告会等にて発信して参ります。



7月、みどりが丘市有地について自治会、市担当と懇談会を開催



役所に熊本の募金箱を設置して貰う



新潟の子育て支援施設を見学

※次回の大網白里市議会は…

平成28年第3回定例議会は、平成28年9月2日(金)～29日(木)まで開催予定です。ぜひ傍聴にお越しください。(一般質問は9/6(火)～8(木)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成28年7月(第5号)

発行／森けんじとまちづくりを考える会

299-3255 大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス: 0475-51-1478

<http://www.morikenji.net/> (メールもHPからどうぞ)